

シルバーフチうら

公益社団法人 土浦市シルバー人材センター

会員数
男 366人
女 164人
合計 530人

令和5年7月1日現在

第87号

2023年(令和5年)7月20日発行
編集・発行/土浦市シルバー人材センター広報委員会
〒300-0052 茨城県土浦市東真鍋町2番5号
TEL. 029-824-8281 FAX. 029-823-3007
ホームページ <http://www.tsuchiura-sjc.jp/>

シルバー人材センター基本理念

『自主・自立・共働・共助』



かすみがうらマラソン 2023

走路員ボランティアに參加しました。

4月16日(日)に開催、全国からのランナー約1万2千人が健脚を競った「かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン大会」。

土浦市シルバー人材センターから30名の会員が、走路員ボランティアに参加、大会の盛り上げに協力しました。

(※詳細は8Pに掲載)



令和五年度定時総会開催

定時総会開催にあたって

令和五年度の定時総会は、六月

二十日（火）午前十時より、クラ

フトシビックホール土浦（市民会

館）小ホールにおいて、百十二名

の会員の方々の出席のもと、昨年

に引き続き、土浦市長安藤真理子様

を来賓としてお招きし開催されま

した。

報告事項として

◇令和四年度収支補正予算

◇令和五年度事業計画・収支予算

決議事項として

◇令和四年度事業報告の承認

◇令和四年度決算報告の承認

◇役員の選任について

以上、審議・承認されました。



理事長
前田 浩



シルバーフチうら

会員の皆様におかれましては、
お忙しい中、定時総会にご出席い
ただき誠に有難うございます。

また、本日は、公務ご多忙の中、
安藤真理子市長にお越しいただい
ております。心から厚くお礼申し
上げます。

本年五月八日からコロナの分類
が、法律上、季節性インフルエン
ザと同等の扱いとなり、政府や自
治体が法律に基づいて行動制限を
要請することは無くなり、感染対
策は個人の判断となりました。
当センターにおいても、さまざま
な停止されていた活動を、正常
運営に戻すことを優先的に進める
ことが求められています。

このため、地域の日常生活に密
着した就業機会を提供することな
どにより、高齢者の社会参加を促
進し、高齢者の生き甲斐の充実、
健康の保持増進、ひいては地域社

会の活性化、医療費や介護費用の
削減などに貢献していきたいと考
えております。

また、センターの運営面におき
ましても、現在は非営利を前提に
税制優遇する仕組みで「利益」を
得ることが原則禁止されています
が、複数年で収支が均衡すればよ
いとの考え方で、単年度収支が黒
字となることを認める「公益法
人認定法」の改正を二〇二四年ま
でにまとめることが公表されました。
このため、センターの運営が

単年度ではなく複数年で行えるこ
とにになり、予算のより有効な活用
ができる」となります。

一方、今年の十月から消費税の
インボイス制度が適用されますが、

今後一年六ヶ月以内に「フリーラ
ンス新法」が施行され、発注者と
会員が直接的な関係となり、セン
ターへのインボイスの適用はなく
なることが予想されます。

以上、私たちを取り巻く情勢が
少しずつ好転していることを踏ま
え、センターのより一層の効率的
な運営を図っていきたいと考えて
います。

皆様、こんにちは。土浦市長の
安藤です。本日は、土浦市シルバ
ー人材センター令和五年度総会が
盛大に開催されますことを、心か
らお喜び申し上げます。

前田理事長をはじめ、会員の皆
様方におかれましては、地域づく
りの担い手として、様々な事業に
ご尽力をいただき、心より感謝申
し上げます。

土浦市長ご挨拶

土浦市長

安藤 真理子

シルバーチラつ一つくら

また、この度、長年にわたる実績が高く評価され、表彰を受けられます皆様、誠におめでとうござります。その功績に対しまして、深い敬意を表します。

さて、少子高齢化が急速に進む今日においては、皆様が生涯現役として、様々な形で地域社会に参加することが求められています。

このような中、就労機会の提供や生きがい作りを通じて、地域貢献を行われているシルバー人材センターの担う役割は、ますます重要になつてまいります。

市といたしましては、会員の皆

様方が長年培われてきた豊富な知識と経験を活かし、今後も、地域

を支える人材として、様々な活動に取り組んでいただけるよう、地

域福祉の向上に努めてまいります

ので、一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
結びに、土浦市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、挨拶いたします。



〈事業実績状況〉

令和5年3月31日

	令和4年度	令和3年度	比較
会員数（人）	514 (男 364・女 150)	490 (男 360・女 130)	24
請負受注件数（件）	2,228	2,254	▲26
請負契約金額（円）	170,824,888	167,843,169	2,981,719
派遣契約件数（件）	55	43	12
派遣契約金額（円）	59,420,872	50,475,143	8,945,729

令和四年度事業概況

会員数は五一四人で前年度比二四人増。
請負受注件数は、前年度比一・二%減となつたが、受注金額は前年度比一・八%増。
派遣契約金額は、請負から派遣への切替もあり前年度比一七・七%増。

令和五年度基本方針

援助サービス（お助け事業）の対象を拡大します。

一、会員の拡大及び資質の向上

◇「地区別入会説明会」・「女性向け入会説明会」を引き続き開催します。ホームページからオンライン入会手続きについては、引続き検討してまいります。

◇ハローワーク等との連携を維持しながら、広報媒体などを活用して会員拡大に努めます。

◇各種講習会の開催と草刈・植木の剪定等専門的な職種の後継者の育成に努めます。

◇「清掃業務相談員」を配置し、さらなる清掃技能の向上に努めます。

二、就業開拓及び就業率の向上

◇行政と連携を図りながら、ふるさと納税事業に取り組みます。

◇「無事故・無災害」を目標に掲げ、会員全員で事故防止に努めます。

三、安全就業及び適正就業の推進

◇ホームページやSNSの充実を図り、迅速な情報発信・提供に努めます。

◇チラシやリーフレットを公共施設等へ常設し、シルバー事業のPRに努めます。

◇市広報紙等にシルバー事業の掲載を依頼するなど有効活用し、会員拡大や就業開拓のためのイメージアップに努めます。

◇計画的なワークシェアリングを実施し、適正な就業と公平な就業機会の確保に努めます。

◇関係機関等と連携し、介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）の推進に加え、家事

事故の報告及び注意喚起を行い、安全就業優先の徹底を行

ります。

◇「適正就業ガイドライン」に即した事業運営の実施に努めます。

◇会員の健康は安全就業に大きく影響することから、自らの健康管理や維持増進を図るため、健康診査等の受診を引き続き要請します。

四、普及啓発活動の推進

◇広報委員会による広報活動の推進を図り、会報「シルバーチュウラ」を年四回以上発行します。

◇ホームページやSNSの充実を図り、迅速な情報発信・提供に努めます。

◇チラシやリーフレットを公共施設等へ常設し、シルバー事業のPRに努めます。

◇市広報紙等にシルバー事業の掲載を依頼するなど有効活用し、会員拡大や就業開拓のためのイメージアップに努めます。

五、安定した法人運営

◇関係法令等を遵守し、経費削減等による効率的で効果的な財政運営に努めます。

◇消費税の「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」に対応するため、事業者登録は済ませましたが、今後もシルバー人材センターの負担増となるよう適切に対応します。

◇公共施設の施設管理については、「共働・共助」の基本理念の基、施設利用者の立場に立った親切・丁寧な対応に努めます。

◇関係法令等を遵守し、経費削減等による効率的で効果的な財政運営に努めます。

理事・監事の補欠選任について

1. 土浦市の人事異動に伴う選任

	新	旧
理事	羽生 元幸	塙本 哲生
監事	刈山 和幸	塙本 浩幸

2. 理事の選任（追加）

理事	石川 雅明	三中地区
----	-------	------

以上、三名の方々が新たに選任されました。

宜しくお願いします。

令和5年度 会員表彰者

おめでとうございます

区分	氏名	地区名	区分	氏名	地区名
80歳以上 15年表彰	長山 真寿美	一中地区	10年表彰	角田 功井祉	一中地区
	伊藤 達夫			角田 之子	
	藤平 尚士	二中地区		木村 衡	
	藤井 勇	四中地区		浜田 留子	二中地区
	宝楢 定義	五中地区		古屋 義幸	四中地区
	市村 節子	都和・新治地区		福田 直美	
	吉成 とよ			豆谷 和子	六中地区
(敬称略)					



表彰を受ける 吉成 とよさん



表彰を受ける 高津 利久さん



入会後は市民会館や二中公民館など様々な場所を清掃してきました。だんだんきれいになつていく場所を見て達成感を感じ、もつときれいにするにはどうすればいいんだろう、と試行錯誤を重ねて十一年が経ちました。これもセンターと多くの会員の方々に助けられ今が有ると感謝しています。

『古いのと汚いのは別』この言葉を常に心掛けて清掃業務を行っています。これからも健康で体の動く限りは、仕事を続けていきたいと思います。

表彰者よりひと言

『試行錯誤を重ねて』

都和・新治地区 市村 節子



市村さん

ご近所でシルバー人材センターに勤めていた方が、急遽入院することになり「一ヶ月で良いから代わりに働いて欲しい」と声をかけていただいたことがきっかけで、シルバーへ入会することになりました。



吉成さん

『日々の充実感をありがとうございます』

都和・新治地区 吉成 とよ

一二級の講習会がありセンターを訪ねました。その後、市民会館で清掃の仕事があるから少しでも興味があればやってみないか、と声を掛けてもらったことがきっかけで入会しました。

新治公民館での清掃業務を一年間勤めました。だんだんと顔見知りの方も増えてきて、別の就業場所に移った今でも、「吉成さん元気?」と声を掛け下さる方もいます。仕事をした日は充実感で夜もぐっすり眠ることが出来ますし、きれいになつたトイレを見て達成感を味

わっています。

家にいるだけでは得られない充実感を求めて、これからも健康第一に元気で仕事を続けていきたいと思います。

が、周りの方々に頼られているうちには元気にやっています。

『十年を振り返る』

都和・新治地区 高津 利久

『あつという間の十年』

六中地区 豆谷 和子



豆谷さん



高津さん

『気が付けばもう二十年』

五中地区 宝楓 定義



宝楓さん

定年退職をして畠で作業をしている時にふと、先のことを考えました。このままいいのか、そんな思いが自分の中に入り、シルバー人材センターを訪ねました。「草刈が出来る」と伝えると「仕事は沢山あるよ。追いつかないぐらい」そう言われて、草刈りを始めて二十年。言われた通り、毎日忙しく気付いたら二十年経っていました。

お客様から「有難うございました」と労いの言葉をかけて戴くとやりがいを感じます。そろそろ引退かなと思うこの頃です

両親の介護が終わり家でぶらついている時に、知人の紹介でシルバー人材センターを知りました。すぐに入会させて頂き、清掃の仕事を始めましたが早いもので、あつという間に十年がたったのかと実感しています。

当初は何もわからず自分の中で失敗ばかりでしたが、仲間の助けで何とかやってこられました。一番つらかったのは、一緒に仕事をし、友達になれた人との別れです。

放置自転車の撤去作業に始まり、公共施設での管理業務等の仕事を通じ、改めて人との関わりや繋がりの大切さを思う日々だった。

お客様から「お世話になりました」「ありがとうございました」の感謝を自分の喜びとして、又互助会活動を通じてもシルバーの活動にこれからも精進したいと思っています。

理事会報告

◆第一回理事会（四月二十五日）

※理事会での主な審議事項

- ①入会者の承認
- ②事務局職員の採用について

◆第二回理事会（五月二十五日）

- ①入会者の承認
- ②令和五年度定時総会の招集の決定について

- ③令和四年度収支補正予算
- ④令和四年度事業報告
- ⑤令和四年度決算報告
- ⑥令和五年度被表彰者の決定
- ⑦理事・監事の候補者選任の件
- ⑧熱中症見舞金制度への加入

◆第三回理事会（七月四日）

- ①入会者の承認
- ②委員会担当委員の選任の件



新入会員の紹介

(三月二十六日～七月四日)

一中地区

太田 淳一 荒木 重雄
森川 清

二中地区

小岩 康美 菊田ひろ子
中島 猛夫 塙中 明

三中地区

津田アケミ 西大條清美
萩野由美子

四中地区

川口 祐子 木村 優
木村 光江 國分よし子

五中地区

蜂谷 進吾 木村
井上 恭子 国分よし子

六中地区

宮崎 光正 中山 七重
青木 正行 石井 仁一

都和・新治地区
(敬称略)

新しい会員の方々です
宜しくお願いします。



紙上交流・懇親ひろば

『地球儀を求めて』

「コロナに負けるな」応援チケットを購入した。これを機に、昼夜などの時差が分かり易い念願の

地球儀の入手を企てた。

早速ネットで調べる。応援チケット2冊でも買えない高価な物から送料が要る安い物まで表示。ネットでの購入には、抵抗があり、チケットは使えない。

そこで、ジョイフル2へ。数種類が陳列。どれも残っているチケットでは買えない。

市内の大型文房具店をネット地図で検索し、人動二輪車で廻った。

小学校の近くに図示されてしまいが、見当たらない。営業中でも、不取扱か、カタログからの取寄せ。

亀城公園北の店を見つけた。外見には不安を感じる。やはり取寄せだが、店主が親切に実物のある山新への道順を教えてくれた。

広い店内の売場を聞く。そこに小型地球儀が。残チケットでも充

分買える。表示文字も小さいが、近視で老眼の私は眼鏡を外せば、充分読める。



想い出の一枚

『グラライダー』

五中地区 坂本 秀紀

私は大学最終学年の春にドイツから輸入したグラライダーの新機体と旧機体



の合わせて、二機の耐空検査（車の車検のようない）を実施することになりました。

この写真は北九州空港の格納庫で、耐空検査員の指導の元、新機体の耐空検査整備を実施していた時の思い出の一枚です。

とめを任せられていました。新機体整備完了後、二発の試験飛行（グラライダーによる宙返り試験飛行を目標して感激！）にて、無事新機体の耐空検査が完了し、次の三発した。学生として、グラライダーの飛行機曳航による訓練飛行の最初の搭乗者に指名されたことで、これまでの苦労が報われたのだと感激したことがこの写真の思い出です。

『会員相談会』を実施しています

会員の就業希望やシルバーパートナー材センターへのご意見・ご要望をお聞きします。

(※事前に申し込みをして下さい)

【開催日】

- ◆八月二十四日(木曜日)
- ◆九月二十八日(木曜日)
- ◆十月二十六日(木曜日)

【時間】

午後一時三〇分～
(一人一〇分程度)

【場所】

シルバー人材センター談話室

委員会だより

安全就業対策委員会

◆令和4年度「安全パトロール」実施状況!!

実施日	実施件数			確認内容/結果
	植木剪定	草刈	清掃	
令和4年9月27日	—	1	2	
12月5日	2	1	2	
令和5年1月30日	1	1	2	
3月27日	1	—	3	結果は良好でした!!

◆事故発生推移

年 度	発生件数		
	傷害	賠償	計
平成30年度	1	9	10
令和元年度	2	2	4
令和2年度	1	2	3
令和3年度	5	4	9
令和4年度	3	1	4

（令和4年度事故発生状況）

区分	件数	事故内容
傷害	3	・植木剪定作業中梯子から落下右前頭部強打 ・清掃作業中階段で足を滑らせ捻挫 ・草取り作業中刈払い機の刃に触れ右ふくらはぎを切創
賠償	1	・植木剪定作業中電話回線を切断

（安全作業のお願い）

自己管理を徹底して事故から自分を守るために、就業前後に器具類の点検及び作業場所周辺の環境確認を実施のこと



【安全標語】

「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」

ボランティア活動委員会

かすみがうらマラソン2023「コースキャスト（走路員）ボランティア」に参加しました！



4月16日（日）、第33回「かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン大会」に当センターから30名（昨年比9名増）の会員が、「コースキャストボランティア」として参加しました。

フルマラソンコースの国体道路沿いを「ピアタウン付近」から「スーパーとりせん付近」までの約2.5km区間の14か所を担当しました。

全国から参加の約1万2千余名のランナーや沿道応援者の安全確保のためにコースキャストスタッフとして、①コース進入車両の防止や②車両の迂回案内等の役割を果たし、安全・安心な大会実現のための一翼を担うことができました。

互助会だより

令和5年度会員互助会総会開催

六月二十日定時総会終了後、会員互助会総会を開催しました。以下の議案を審議し、すべて原案通り承認されました。

- ・令和四年度事業報告
- ・令和四年度収支決算報告
- ・令和五年度事業計画
- ・令和五年度収支予算
- ・役員の補欠選任

※次の二名の方が新たに、幹事に選任されました。

◆ 矢口 京子 四中地区
◆ 長谷川恭子 四中地区

宜しくお願いします。

新型コロナウイルス感染症の分類変更に伴い、行動制限も解除になりました、今年度は、互助会行事も通常通り、開催出来そうな状況です。現在、下記の行事を計画中です。開催まで今暫くお待ちください。

今年こそ旅行会できるかな？



令和元年度バーベキュー大会にて!!

令和5年度互助会事業計画			
行事名	月/日	場 所	備 考
バーベキュー	9月	「レストハウス水郷」	
旅行会	11月	調整中	日帰りバス旅行
ボウリング大会	12月	「パニックボウル」	

※詳細につきましては、シルバー広報紙・ホームページ等で、随時お知らせいたします。

互助会会計報告 (単位:円)			
令和5年度予算		令和4年度実績	
収 入	支 出	収 入	支 出
会 費 250,000	慶弔費 100,000	会 費 249,000	慶弔費 65,000
利 息 8	旅行会他補助 130,000	利 息 8	旅行会他補助 0
練 越 916,630	同好会補助 70,000	練 越 888,980	同好会補助 50,000
	会議費 30,000		会議費 21,358
	雜 費 50,000		雜 費 50,000
	予備費 40,000		予備費 35,000
合 計 1,166,638	合 計 420,000	合 計 1,137,988	合 計 221,358
收支差額 746,638 円は次年度へ繰越		收支差額 916,630 円は次年度へ繰越	

同好会活動報告!

TSグリーン俱楽部

六月二十六日出島カントリークラブにて、三ヶ月振りのコンペです。五月に予定していたのですが、生憎の雨で中止となり、急遽梅雨の季節の開催となりました。

皆の願いが聞き入れられたのか当日は上天氣。スコアはともかく、楽しい一日が送れました。次回も楽しみにしています。



梅雨空も何のその!!

次回コンペのお知らせ!!

- ・日時:令和5年10月16日 9時7分 中コース
- ・場所:かすみがうらGC
- ・申込:5組 20名まで

※詳細は後日連絡します。

事務局より

ことで、発生を防ぎましょ
う！

高齢者の熱中症

高齢者は「加齢による体内の水分不足」「暑さに対する調節機能・感度の低下」などの要因で熱中症になりやすいため注意が必要です。

▼熱中症予防の基本

- ・こまめに水分補給
- ・保冷・冷たいタオルなどによる体の冷却・体温測定

- ・水分・塩分を補給する
- ・日陰・エアコンの効いた屋内など、涼しい環境へ移動する。
- ・体を冷やす



お知らせ

- ・会員の皆様が、就業中等に「熱中症」による被害を受けた場合に見舞金を支給する「熱中症見舞金制度」に加入了しました。
- ・「熱中症」と診断された方には、見舞金が支給されますので、事務局まで連絡願います。

見舞金支給額

死亡見舞金	10万円
入院(2泊3日以上)	5万円
入院(1泊2日)	3万円
通院(日帰り入院含む)	5千円

あとがき

シルバーフチうら第八七号においては、六月二十日開催された令和五年度定時総会の内容をはじめとして、表彰者の皆様の一言など通常の広報紙に比べて盛り沢山の内容になつております。これは会員皆様の投稿が増えたことにも起因しております。ありがとうございます。

五月八日に新型コロナウイルス感染症が五類感染症に位置付けられ、感染対策は個人の判断に任せることになりましたが、感染者が増加しておりますので、皆様におかれましては十分な対策を講じ、加えて熱中症等に注意され、お仕事をして下さるようお願いいたします。

委員長 池 和親
委員 美和 靖昭
山本 方人 久保木道廣
御供 文範

原稿募集のお知らせ

- ◆エッセイ・感想文（300～400字）、俳句、川柳、短歌他
- ◆写真「想い出のこの一枚」（簡単なコメントも）、「シルバーフチうら」表紙の写真など、いずれも氏名・会員番号を明記して下記へ送付して下さい。（ご持参可）
- ※写真はUSBメモリーデータでお願いします。（メモリーは返却します）
- ※メールでの応募も可
- ※文意の変わらない範囲で編集することができます。

宛先：土浦市シルバー人材センター広報委員会

シルバーフチうら ひろば係

〒300-0052 土浦市東真鍋町2番5号 ☎029-824-8281

E-mail: info@tsuchiura-sjc.jp

より楽しい広報紙を目指し、皆様からのご意見及び投稿を隨時募集しております。

取り上げて欲しい原稿・意見、要望等御座いましたら、事務局迄連絡をお願いします。

広報委員会